

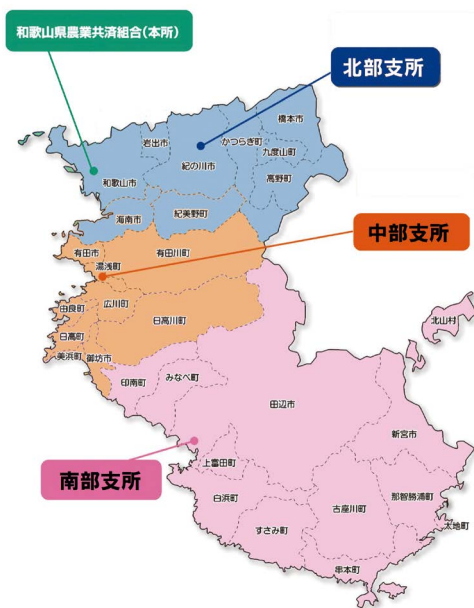
和歌山県農業共済組合(NOSAIわかやま)

1. 和歌山県の紹介

和歌山県は紀伊半島の南西に位置し、南は日本で一番北にあるサンゴ群落のある本州最南端の串本町から、北は徳川御三家の一つ紀州藩の居城「和歌山城」のある和歌

山市と南北に長い県です。そのため、南は太平洋側気候に属し、黒潮の影響で真冬でも霜の降らない無霜地帯もあれば、北は瀬戸内海式気候で雨の少ない日照時間の長い気候と南と北では気候が異なります。

和歌山といえばどんなイメージをお持ちでしょうか。日本一パンダの多い県？それとも世界遺産に登録された「紀伊山地の霊場と参詣道」でしょうか。その他にも熱海温泉、別府温泉と並んで日本三大温泉と呼ばれた「白浜温泉」。日本三美人湯の一つである「龍神温泉」。真言宗総本山の金剛峯寺のある高野山と観光資源に恵まれ、大阪からは高速道路で直結。東京からも羽田空港から南紀白浜空港までは1時間弱と短時間で往けることから観光地としても注目されています。



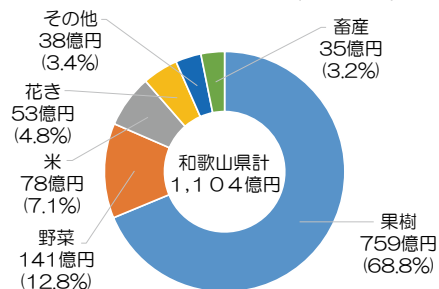
2. 和歌山県の農業

和歌山県の農業生産額は1,104億円（令和2年）で全国29位となっており、全国的に見れば多い方ではありません。しかし生産額の69%の749億円が果樹で、ミカン、ウメ、カキ、ハッサク、セミノール、サンショウ、イチジク、ジャバラが出荷量第1位。その他にモモ、スモモ、キウイフルーツ、ビワも上位で、果樹王国と言われています。ウメは全国の収穫量

の6割以上が和歌山県産です。

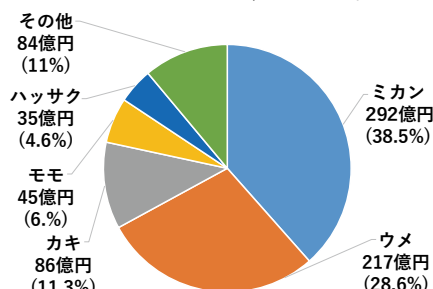
また施設での野菜や花き栽培も盛んで、エンドウ豆、トマト、レタス等多様な作物が作付けされています。県中部ではスターチス、カスミ草、スプレーギク、ガーベラなどの切り花が多く、スターチスは作付面積、出荷量ともに日本一。切り花の作付面積は62,600aで日本第4位（令和元年）となっています。

和歌山県の農業産出額（令和2年）



出典：農林水産省「生産所得統計」

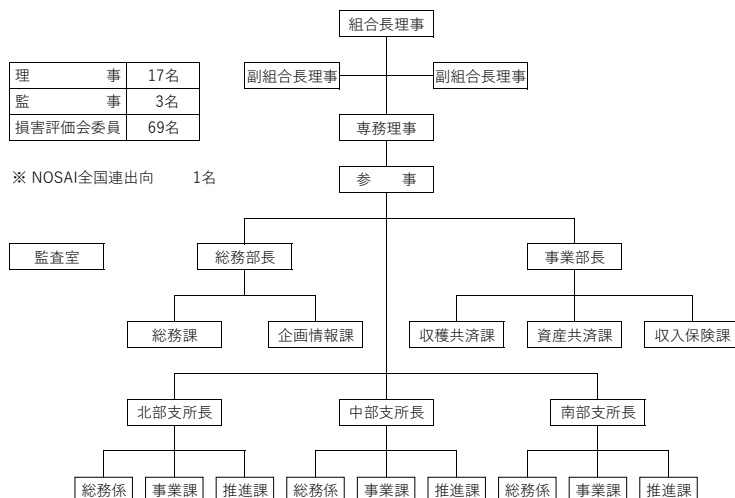
果樹の産出額（令和2年）



出典：農林水産省「生産所得統計」

3. 和歌山県農業共済組合の概要

- 所在地：和歌山市美園町5-1-1
和歌山県 JA ビル5階
- 電話番号：073-436-0771（代表）
- 理事：17名
- 監事：3名
- 職員数：75名（臨時職員含む）
（2023年4月1日現在）



4. 和歌山県農業共済組合（NOSAIわかやま）の活動

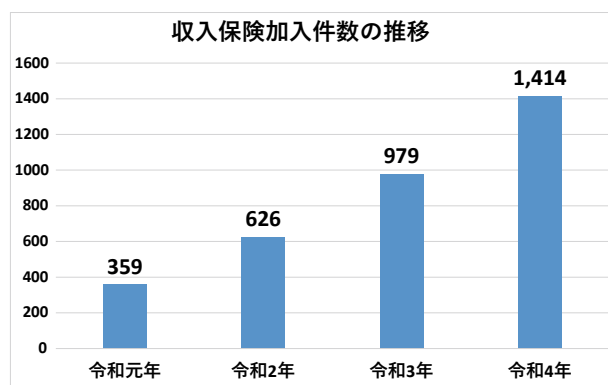
当組合で実施している農業保険制度は「農業共済制度」と「収入保険制度」で、どちらも国の制度です。前者は自然災害による損失を補てんする制度で、後者は、農家の青色申告を基に収入減少を補てんするもので、品目に関係なく、自然災害以外の減収も対象となる今一番ホットな政策保険です。

当組合は平成29年4月に県内3組合が合併し、和歌山県農業共済組合が発足しました。発足当初は本所と3支所、4出張所でしたが、経営のスリム化を図るため平成30年度から支所・出張所の統廃合を進め、現在は本所と3支所の体制としております。

また職員数も減少したので、マンパワーが

足りなくなったときには、本支所間を柔軟に応援する体制を整えています。

組織体制においては、共済事業を行う事業課と、収入保険・園芸施設共済等の引受拡大を中心としたフロント業務に特化した推進課を設置しています。令和3年度引受実績は、農作物共済、3,997ha（共済金額25億7千万円）、家畜共済3,488頭（共済金額5億5千万円）、果樹共済は4,014ha（共済金額105億円）、園芸施設共済5,574棟（共済金額126億2千万円）。収入保険は1,414経営体の加入となっており、今後更なる加入拡大に向け県・市・町の協力を得ながら役職員一丸となって取り組んでいるところです。



Instagram
https://www.instagram.com/nosai_wk/



Facebook
https://www.facebook.com/nosai_wk